

令和元年度 第1回学長選考会議議事要録

日 時 令和元年7月5日（金）10:00～11:20

場 所 事務局1号館2階会議室

出席者 <委員> 石田議長，和泉委員，井戸委員，河村委員，坂東委員，小山委員，
波多野委員，近藤委員，山崎委員，佐藤委員
<委員以外> 藤野理事・副学長・事務局長，榎並監事，三矢監事

資 料

1. 平成30年度業務執行状況について
2. 「業務執行状況の確認」のプロセスについて

参考資料

1. 平成30年度第1回学長選考会議議事要録（案）
2. 国立大学法人東京工業大学学長選考会議委員名簿
3. 国立大学法人東京工業大学学長選考会議規則
4. 国立大学法人東京工業大学学長候補者の選考及び学長解任の申出に関する規則

○ 定足数の確認

委員11名，定足数8名に対して出席者10名で成立。

○ 平成30年度第1回学長選考会議議事要録 承認

○ 議題

1. 学長の業務執行状況の確認について

議長から，「学長候補者の選考及び学長解任の申出に関する規則」第11条の3により，「学長選考会議は，監事と連携しながら学長の業務執行状況について毎年度確認する。」と規定されており，学長選考会議において学長からの説明聴取・質疑応答を行う旨の説明があった。

その後，益学長が入室し，資料1に基づき，平成30年度業務執行状況についての説明があった後，各委員と質疑応答が行われた。

（委員からの質問・意見）

- ・指定国立大学法人構想について，計画を推し進めていく中で常設の組織や委員会がないといけませんが調整等，どのように進めているのか。
- ・田町キャンパスもこれから発展するすばらしい時期なので，単なるオフィススペースではなく，こういう活動ができるんだと東工大ならではの科学技術初のチャ

レンジと結びつける構想をぜひ作っていただきたい。

- ・高等教育全体あるいは国立大学全体として、18歳人口の減少や国の財政などいろんな危機に直面している。国立大学全体と東工大とで同じ認識でいるのか。アクションプランの背景にある将来見通しやリスクについてどのように考えているか。
- ・大学教員とスタッフは教育改革も実行・推進し、ものすごく働いているし、大学も非常に努力している。一方、国も産業界も大学にはさらなる改革が必要とおっしゃる。東工大として、将来構想も含め理解をいただくためには、どのように有効なメッセージを発信していくのか。

益学長が退室した後、榎並監事から、この一年は三島前学長が行った教育改革及び研究改革の理念を保ちつつ、この改革に伴う諸問題に対して学内の意見を聞きながら改善している。指定国立大学法人についても掲げられた目標を着実に進めていることや現場との対話活動を重要視し頻繁に行っていることに対しても高く評価している。さらに、今後は益学長らしいメッセージを出す時期にきていて、その一つとして経営改革ではないかと発言があった。

以上、益学長に対する説明聴取・質疑応答の結果、益学長がリーダーシップを発揮し、大学運営が順調に進んでいることを確認した。

業務執行状況の確認結果については、議長から、益学長に報告することとした。

また、議長から、資料1及び本会議において業務執行状況を確認したことを記載した議事要録を学内外に公表する旨の説明があった。

2. その他

藤野理事・副学長・事務局長から、監事は文部科学大臣が任命しているが、文部科学省は従来大学の意向も聴いている。これまでは本学としては様々な方からの意見を踏まえて文部科学省へ意向を伝えていたが、監事はこれからさらに役割が重要になってくることから、大学における過程についても透明性を高めていくことが望まれる。次期監事の候補について各委員に有識者という立場で意見を伺えないか発案があり、意見交換を行った結果、引き続き検討を進めていくこととなった。

3. 次回開催について

議長から、次回の本会議は、10月2日（水）の開催を予定し、おって連絡させていただく旨説明があった。

以 上